学校番号	3033

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・周囲と自分の関りや新たな気づきが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の扱い方、使用方法を学びながら表現力の向上を目指す
学習活動を行います。
・作品完成後は振り返りｼｰﾄや相互鑑賞の場を設け、作品に対する客観的な視点を深める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて 表現方法を創意工夫し，個性豊かで,創造的に表すことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、材料や光などの造形の要素の働きや造形的な特徴を捉えて主題に合った表現が行えているか、また、材料や用具の特性を生かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、生活や社会を豊かにする造形について考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練り、個性豊かに表現できているか、また、他者の作品への見方や感じ方を深めているかを評価します。	主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組み、主題を創意工夫して実現しようとしているか、新たなものをつくろうという観点に立って自分なりの気づきや視点を活動に取り組めているかを評価します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
二年前期	凹版画石膏刷り	【絵画・彫刻】 ・人物クロッキー　生徒相互がモデルになってクロッキーをする。毎授業開始時に行う 【版画】版で表す凹版画石膏刷り 1.ペン画練習を通じた理解 ・ペン画の練習により線を使った表現を学び、またにじみのある線によりできるドライポイント技法の表現の特徴を理解する 2.主題の設定 ・アイデアスケッチで描きたい主題を明確にしてゆく 3.構想を練る ・主題から発想を広げ、構図や造形的な視点を大切にしながら構図を練る ・下絵提出、左右反転コピーする 4.制作 ・線表現と凹版画の特性を生かして表現方法を工夫する 【鑑賞】相互鑑賞 お互いの作品にコメントを送る	a:　人体の構造、比率、重心、バランス、動勢などを捉え、 鉛筆の特性を生かして表現している a:凹版画技法の表現の特徴を生かすとともに表現方法を工夫して主題を追求している b:感性や美意識、想像力を働かせ、イメージを造形的な視点でとらえ、自分としての意味や世界観を造形的に表現している 大胆な構図や変形など画面を工夫している b：作者の表現の意図、表現の工夫、作品のよさや美しさなどを感じ取ろうとし、見方感じ方を深めている c:主体的に主題を生み出し、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている	クロッキー帳 ワークシート 取り組み状況 提出作品	下絵用紙 取り組み状況 相互鑑賞カード	取り組み状況 振り返りシート
二年後期	鑑賞・油絵「わたしの街の風景」	【鑑賞】【絵画】映像鑑賞 絵画制作導入として、風景画家についての映像番組を鑑賞する 【映像】カラーマッチング ・与えられた色見票の色を絵の具の混色でつくる ・2 人 1 組でお互いの混色作業を chromebook で撮影し、2 人分の映像を確認。混色の割合を分析、2 回目の混色に生かす。	a:色の要素についての知識を生かし、混色によって目的の色をつくることに取り組んでいる 映像に収めるべき情報を理解し、構図を意識して画角を決め撮影している b:造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている	ワークシート 映像	ワークシート	

		【表現】【絵画】 ・油絵「風景画」 日頃暮らしている街並みを絵の対象として捉えなおし、実感のこもった風景画を描く 1.主題の設定 描きたい作風や様式を教科書図版から選び、作品の特徴などを鑑賞し、作品のイメージをつくる 2.構想を練る あらかじめ用意しておいたスケッチや写真から構図や配色など造形的な視点を大切にしながらｱｲﾃﾞｱｽｹｯﾁで構想を練る 3.制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かして表現方法を創意工夫し、創造的に表す。 【鑑賞】相互鑑賞 お互いの作品にｺﾒﾝﾄを送る	a:形や色彩、光や立体感などの造形の要素の働きや、造形的特徴をもとにして全体のイメージを捉えている 意図に応じ材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫して主題を追求している b:自然や生活など日常の風景を見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生成している 色彩を豊かに使い、重ね塗りを表現に活かして、創造的な表現の構想を練っている c:制作活動全体の中で主体的に主題を創意工夫し、見通しをもって表現の制作活動に取り組もうとしている	ﾜｰｸｼｰﾄ 取り組み状況 提出作品	下絵用紙 振り返りｼｰﾄ 取り組み状況 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 取り組み状況 振り返りｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度